

夢

橘中学校 三年 杉本 出帆

皆さんは夢を持っていますか？私には今夢がありません。

中学三年生になって進路の話が増えてきた時、私はある程度の志望校の目途や漠然とした将来のイメージはついていたものの、自分の周りにはすでに先を見ずえて努力している人が居たので、少し焦りを感じていました。

あるサイトでは66.8%の中学生がすでに将来就きたい仕事や職業が決まっているという記事を見て、今自分が夢を持っていないのはおかしいのか？と思う時さえありました。そうして私はもっと努力しなくてはいけないのではという思いに駆られていました。そんな中努力の方向性についてやそもそも今なぜ、何のために勉強などの努力をしているかを考えた時に、高校や大学がゴールでは無いという前提が見えてきました。あくまで勉強は夢を叶えるための手段や方法であって、そのものが目的や成果になることは少ないということです。

その点で、夢とは努力をするためのモチベーションになり得るものだと改めて認識することができました。

私が生活する上で大切にすべきだと思っていることは、好きなことをして楽しむことです。なぜなら楽しくなければやりたいと思う気持ちも薄れてしまおうし、続けていくための原動力だと思うからです。

だから私がこれからの人生で大切にしていきたいことは、人と人との関わりやつながりをより密接にして、「楽しい」をみんなでも共有することです。楽しいことや楽しい瞬間を共有することによって、自分だけではなく自分の周りの人も嬉しい気持ちになります。

一生を過ごす上でそういった時間は十分に価値があるものだと思うし、そのためにもそれに対するたくさんの努力が必要なのだと思います。

私が夢を叶えるために必要だと考える物のひとつとして、「変化」があります。

変化は自分に良い影響も、時には悪い影響も与えます。中学生最後の運動会でブロック長という役割を任されていた私は、自分の役割の重さをひしひしと感じていました。しかし、友達や周りの人と話し、日が経つにつれて自分が背負っているこの重さの正体は、みんなからの期待なのだど理解しました。そして今までは気に留めていなかった後輩の存在や、この役割のやりがいやより拡大して見れるようになり、この役割がどんどん好きになっていきました。そのおかげで本番はみんななどの最高の瞬間を共有し、素晴らしい経験を得ることができました。

そんな私のこれからの生活の目標として、自分の好きなことと仕事の架け橋になるものを探すということを掲げたいです。

最初は少し不安だったけど、自信を持って好きと言えるような仕事、夢に出会いた

いです。

そのためにもっと色々な知識、経験などが必要になると思うので、そんな夢が見つかり、出会った時に取り零さないように勉強や学校生活などの日々の積み重ねを怠らずに頑張って、いつか夢を叶えられるようにしたいです。